



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会  
2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

8月号会報

2012年(平成24年) 8月 1日(水)

NO. 132

## 十年間

### お世話になりました

倫理研究所 国際部長

新原隆一

南カリフォルニア倫理の会の皆さん、おはようございます。七月は国際部長としての最後の出張になりましたが、皆様方には大変お世話になりました。心より感謝御礼申し上げます。

思い返すと国際部長を拝命して、一九九六年以来再び「南カリフォルニア倫理の会」を担当することになったのが二〇〇二年九月のことでした。あれから十年、九月の「辞令交付式」、十一月の「会員総会」など、一年に何回か出張させていただき、合計三十二回皆さんとの倫理交流を深めることが出来ました。本当にありがとうございました。

長年会長を務めていただきました梅本豊造ご夫妻には、当初からことのほかお世話になりました。空港への送迎から始まって、各行事の企画・実施、当時のラジオ放送のコンピュータによる録音を二人でオフィスにこもってやりました。一番お世話になった

方です。会長を交代された後でも変わりなく倫理活動にご協力いただいていることに感謝しております。和子夫人の足の怪我が一日も早く回復することを祈っております。

また、川田薫会長は就任していただくにあたり、電話でお願いしたところ謙虚にしかも快く受けていただきました。あのときの私の喜びは今でも忘れることができません。大変多忙な身でありながら三年間会長を続けていただいております。これからも末子夫人共々さらによりしくお願いいたします。

滝川政和・歌子ご夫妻にも毎回お世話になりました。ご自宅での「男の料理教室」は忘れられない思い出です。行事の度に大きな筆で書いていただく政和氏のバナーの文字は目に焼きついています。門園美枝子・実ご夫妻にもご主人が同郷であることから、息子みたいに親しくしていただき多くの思い出があります。五月の生誕地・天和への案内が最後となりました。実氏のご長命を祈ります。前田グレースさんは、かつ

ての職業を生かした名庶務部長として、今も全く歳を感じさせないご活躍です。愛車レクサスでのドライブは、いつも安心して乗っていることが出来ました。

ホン史子さんは広報部長として『おはようロスアンゼルス』を毎月発行していただいています。原稿が遅れてご迷惑をおかけしたことも度々あり、申し訳ございません。ますます元氣印で頑張ってください。

土佐美代子婦人部長ご夫妻にも長らくお世話になりました。倫理経営のお店がますます繁盛している様子を、今回この目で確かめることが出来て嬉しく思いました。忠雄さん、健康には十分ご留意ください。

草野律子文化部長も小さい体で文化活動に頑張っていただいています。ご主人の順一氏が私と同じ鹿児島出身という事もあり、ご夫婦とも親しくなりました。

橋勝男普及部長は私が知らぬ間に入会され、あれよあれよという間に普及部長になられました。川田会長の片腕です。これからもよろしく。

一貫してお世話が続けてくださる上品な大島藤江さん、いつも目立たないところで活躍していただく氏家正子さん、オレンジ郡で頑張っている矢崎由起子さん、班長として第一線で支えてくださっている伊澤潤子さん、大竹信雄さん、長谷川松子さん、トイフェル佳江さん、柳川往代さん、橋本学・メイご夫妻、ロス支舎の普及員長時代から続いている大西健造さん、自宅を開放してガーデンに会場を開いてくださった奥本敏明・洋子ご夫妻、ラグナニゲールの遠くから参加の筒井完一郎ご夫妻、お土産でお世話になった畠朗子さん、いつもニコニコと集いに来てくださった宗紀子(コロムビアローズ)さん、先日のリサイタルに招待していただきありがとうございます。

オレンジ郡の集いでお世話になった同郷の松元俊治・依子さん、伊藤富雄さん、ラジオで『職場の教養』を紹介するきつかけを提供していただいた「ゴウさん」こと須永昇さん、唯一ロスから沙漠緑化活動に参加の塩出笑子さん、ビジネスセミナーにはいつ

も顔を見せてくれた有地敏廣さん、文化活動に熱心な摺木洋子さん、羽島照子さん、松永典子さん、大川敏子さん、杉野和子さん、堀井幸江さん、近年メンバーになっていただいた尾崎フアミリー、藤間さん、失礼ながらまだ名前を覚えていないそのほかの皆さん、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

まだまだ多くの皆様にお世話になっていますが、名前の出てこなかった会員の皆さんごめんなさい。十年間も倫理運動を通じて交流できたことに心より感謝申し上げます。皆様のごことはボケない限り決して忘れることはありません。

九月から「参与」と言う立場で、日本国内の倫理普及に取り組みます。今度は仕事を離れて旅行で西海岸を訪問したいと考えています。そのとき再会できますように、どなた様もご健康に十分留意してお過ごしください。

言葉足らずで、言い尽くせませんが、心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございます。



### 倫理セミナー

七月十五日（日）新原隆一国際部長の最後のセミナーが行なわれた。

生涯局時代のLA担当を含めると実に十二年半という期間を経て最後の締めくくりは「モーニングミクサー（朝の集い）の意義と留意点」をお話し下さった。

朝の集いに参加する際の姿勢、美しいお辞儀、朝のあいさつの仕方、『葉』の持ち方、斉唱の仕方、など、正しく臨めば疲れず気持ちすがすがしいことを示して下さった。

早起きを奨励する倫理は、自分がスナオになる学びであること、積極心を養うために輪読、実践報告をすること、十七ヶ条斉唱や輪読は人に合わせる訓練であること、実践報告は倫理の

教えの正しさの証明であること、講話を聞く人は邪念を持たずそのまま聞くこと、誓いの言葉は倫理の魂を天下に宣言するつもりで心をこめて言うこと、など週一回だから真剣に、本気でやるということが大切ですと教えられました。先生、ありがとうございます。

### 「モーニングミクサー」（朝の集い）の意義と留意点

新原隆一先生はロス会員への最後の講義として、何のために朝の集いをするのかを話して下さいました。倫理を学ぶエッセンスは「朝の集い」にあります。倫理の最終目標は自分がスナオになり幸せになることです。そのために学んでいるのです。

#### □ 朝に行なう意義

1. 自然界の全ての生物は日の出とともに活動を始め、日の入りとともに休む（自然のリズム）
2. 自然のリズムに合わせることで幸せになる道

3. 目が覚めたらサツと起きることがスナオの第一歩であり、わがままを取り去る道【目が覚めると言うことは人間の力ではなく、天から気づかされている】

4. 朝起きの習慣を身につけるために朝の集いに来る

5. 一日のスタートにあたり「明るい笑顔」「元気な挨拶」「やる気の返事」等の実践に取り組む

6. 誰とでも調和できる人になるため朝の挨拶、斉唱、誓いの言葉は声を合わせる【小さなことを合わせるようにすると大きなことも合わせられるようになる】

7. 積極心を養うため「葉の輪読」「実践報告」は「ハイ！」と返事して進んで前に立つ

8. 実践報告、講話など人の話は邪念を去って、純粋な心で聴く【聴く人の態度で話す人の良さが引き出され、話しも良くなる】

<p>□ 開催中の留意点</p> <p>1. 進行者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 発声・態度が全体のムードを左右する。週一回の体験なので本気で務めること</li> <li>* 進行要領に沿って、にこやかに元氣よく進める</li> <li>* 「実践報告」の時は間があかないように指名するといふ気配りをする</li> <li>* 全体がもたつかないように心がける</li> </ul> <p>2. 朝の挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 朝の第一声は元氣よく、リーダーに心を合わせることがポイント</li> <li>* リーダーは「はい！」と返事して前に立ち、全体を見回してから「みなさん！」と張りのある声を出す。</li> <li>* 会員はリーダーにタイムイングを合わせて、リーダーと会員の全員が同時に「おはようございます」と言う。</li> </ul> <p>3. 「十七ヶ条斉唱」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 声を揃え、タイミングを合わせることにポイント</li> <li>* 早すぎず、遅すぎず、全体が声を合わせて一人で読んでいるような感じ</li> </ul>			
	<p>4. 『万人幸福の葉』輪読</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* リーダーは区切るところを間違えないように</li> <li>* 積極心を養う実践なので読もうという心構えで参加する。勇気を出してタイムイングを掴み、輪読に参加する</li> <li>* リーダーはなるべく多くの人に読んでもらうよう事前に区切りを考慮する</li> <li>* リーダーは会員の読み間違いはすかさず指摘。やさしく読み直してもらおう</li> <li>* 読み間違いの指摘を受けたら即座に「ハイ」と受けて読み直す</li> <li>* 何人かが同時に「ハイ」と参加の返事をしたらその人たちが声を合わせながら一緒に読む。「どうぞ」と譲ることはしない。</li> </ul> <p>5. 実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 稗倫理を実践・実証する報告の場である</li> <li>* 発表の基本の順番は、体験の概要、苦難の状態、倫理に触れて（指導、講話、本など）、反省、実践、結果、決意である。</li> </ul>		
<p>7. 「誓いの言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 今日一日、今週一週間の</li> </ul>	<p>6. 「講話」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 純粋倫理の内容をわかりやすく、実践しやすく伝える</li> <li>* 講話者は「一講話、一倫理」を心がけ、一度にたくさんさんの倫理を語らないこと</li> <li>* 会員は「講話者は丸山敏雄先生の名代」という気持ちで、そのまま聞きそのまま実践すること</li> <li>* 「この講話の中から何かひとつ実践するぞ」との純粋な心で聴くことが大事</li> </ul>	<p>特に苦難がなくても、実践した結果を話してもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 倫理の教えを聴いて、倫理の本を読んで、実践した結果を喜びとともに発表する</li> <li>* 倫理の教えが正しいことを証明する場だから、進んで喜んで発表する</li> <li>* 何を実践したかが重要で、単なる世間話にならないように心がける</li> </ul>	<p>実践の決意を天下に宣言する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 心を込めて、声を揃えて、明朗、愛和、喜働の実践を高らかに誓う。</li> <li>美しいお辞儀の仕方</li> </ul>
<p>正しい姿勢は社会のどこでも通用します。モーニングミクスサーで、しっかり練習しましょう。</p>	<p>朝の挨拶</p> <p>リーダーが「みなさん」と言ったらリーダーを含めた全員で美しいお辞儀をしながら「おはようございます」という。</p>	<p>正しい『葉』の持ち方</p> <p>姿勢は、椅子の背もたれから背を離す。背筋を伸ばし、両の脇を締める。『葉』は表紙側を人差し指から小指の4本で、読むページを親指ではさみ、目の高さを持つ。</p>	<p>美しいお辞儀の仕方</p> <p>首が曲がらないように背筋を伸ばし、頭を下げる時は腰を折るようにする。一で下げた頭を、二、三、四とゆっくり数えながら頭を上げる。</p>

おめでとう！おめでとうございます

『しきなみ』七月号

三席 門園美枝子 群螢集（東京）

掃き寄せし落葉の山より虎ねこがのっそり出  
でくる温き昼下り

二席 草野律子 真砂集（西東京・海外）

「あなたの胴どうしてくびれていないの」とう  
タイトル目にし雑誌を買いにき

三席 梅本和子 真砂集（西東京・海外）

姑（はは）の部屋孫らのクラフト壁一面温み  
溢るるミニ展示会

入選 摺木洋子 飛雲集（西東京・海外）

入選 伊澤潤子 飛雲集（西東京・海外）

『秋津書道』七月号 〈競書〉

入選 堀井幸江 高等部（東京）

入選 咲田静子 一般部 草書（東京東部）

入選 榊中恵美子 一般部 草書（東京東部）

三席 野田由加里 一般部 楷書（東京）

入選 竹内康子 一般部 楷書（東京）

入選 トイフェル佳江 一般部 楷書（東京）

三席 咲田静子

・・・・・・・・・・・・・・・・

矢口裕司先生

新しく文化部担当となられる矢口裕司先生は  
『しきなみ』誌の「つばさ」の部（十八歳まで）  
の選者です。毎回、子どもたちの素直な短歌に  
温かい講評をされています。早くお目にかかり  
たいですね。

短歌のできた境地 (63)

カウンターですしとコーラをたのむ人  
に驚いた日は遠くなりたり

伊澤潤子

ニューヨークからカリフォルニア  
に移り住み、寿司屋のしかもカウンタ

ーで握りとコーラを頼むアメリカ人  
に、「エッ、信じられない！」と白い目

を向けたのは二十余年前。今ではポピ  
ュラーとなった寿司屋で、よく見かけ

る光景となりました・・・と、伊澤さ  
ん。最近のロス・アンゼルス景を詠ん

だ連作の中の一つです。こうして時代  
は移り変わって行くのですね。

は移り変わって行くのですね。

は移り変わって行くのですね。

は移り変わって行くのですね。

しきなみ短歌

朝あけの残月あおぎ散歩する東の空は金色  
となる 橘高比呂美

ラジオから流れくる唄「いい湯だな」土曜  
八時をふと思ひ出す 伊澤潤子

「ブロッコリーこれを食べるとオリビアも  
大きくなるよ」と妻も頬張る 梅本豊造

いつの間にか屋内装飾増えに増え改装を機  
に一大処分 梅本和子

積年の思い叶いて大き師の生誕の地に胸熱  
く佇つ 門園美枝子

積年の思い叶いて大き師の生誕の地に胸熱  
く佇つ 門園美枝子

積年の思い叶いて大き師の生誕の地に胸熱  
く佇つ 門園美枝子

積年の思い叶いて大き師の生誕の地に胸熱  
く佇つ 門園美枝子

積年の思い叶いて大き師の生誕の地に胸熱  
く佇つ 門園美枝子

日本語で短歌を詠むとうハードルを乗り越  
え応募は百十一首 ホン史子

痣あまた全身支える夫の腕は「自立」を担う  
柱となりぬ 松永典子

日本語を第二ヶ国語とする子らのとつとつ  
とした短歌が届く 草野律子

鶏を我に渡して愛犬は誉めてほしいと吾を  
見詰める 摺木洋子

吾娘のためあれこれ憂うことあれどすべて  
話して明るい返事 山内洋一

春の陽に陽だまり見つけ丸くなり気持ち良  
さに眠る愛犬 松元依子

「お帰り」とむかえてくれる里の家一年ぶり  
の母の笑む顔 大川敏子

ジャカラダ紫あふるる並木道おだやかな  
りし時を楽しむ 滝川歌子

裏庭に野性朝顔つる伸びて日毎咲きつぐう  
す紫に 奥本洋子

空青く丘の斜面にたち並ぶ白き翼の風力発  
電 杉野和子

父亡くし姉と吾とを育てつつ小さき幸せ見  
つめてた母 長谷川松子

迷わずに必ず着けという意味か吾子はカー  
ナビ我にくれるも 塩出笑子

生きたこと楽しきことと思いつつ桜花みて  
はかなさを知る 吉成光一

打ち上げの花火のごとくジャカラダ五月  
の空に広がり咲くも 伊勢田豊

身を伸ばし日向ぼつこの眠たげな犬に気負  
いの微塵もなく 中村正生